

令和5年11月

Ashiya

PEACE

プロジェクト

第3期芦屋市教育振興基本計画（R3～R7）

—めざす教育の姿—

“信頼される学校園と成熟した家庭・地域で育む豊かな人間力”

芦屋の教育指針（令和5年度）

—めざす子どもの姿—

“夢と志をもって自らの未来を切り拓く子どもの姿”

芦屋市教育委員会

Ashiya P・E・A・C・E プロジェクト

～ONE STEP！ 夢中になって学ぶ楽しさを～

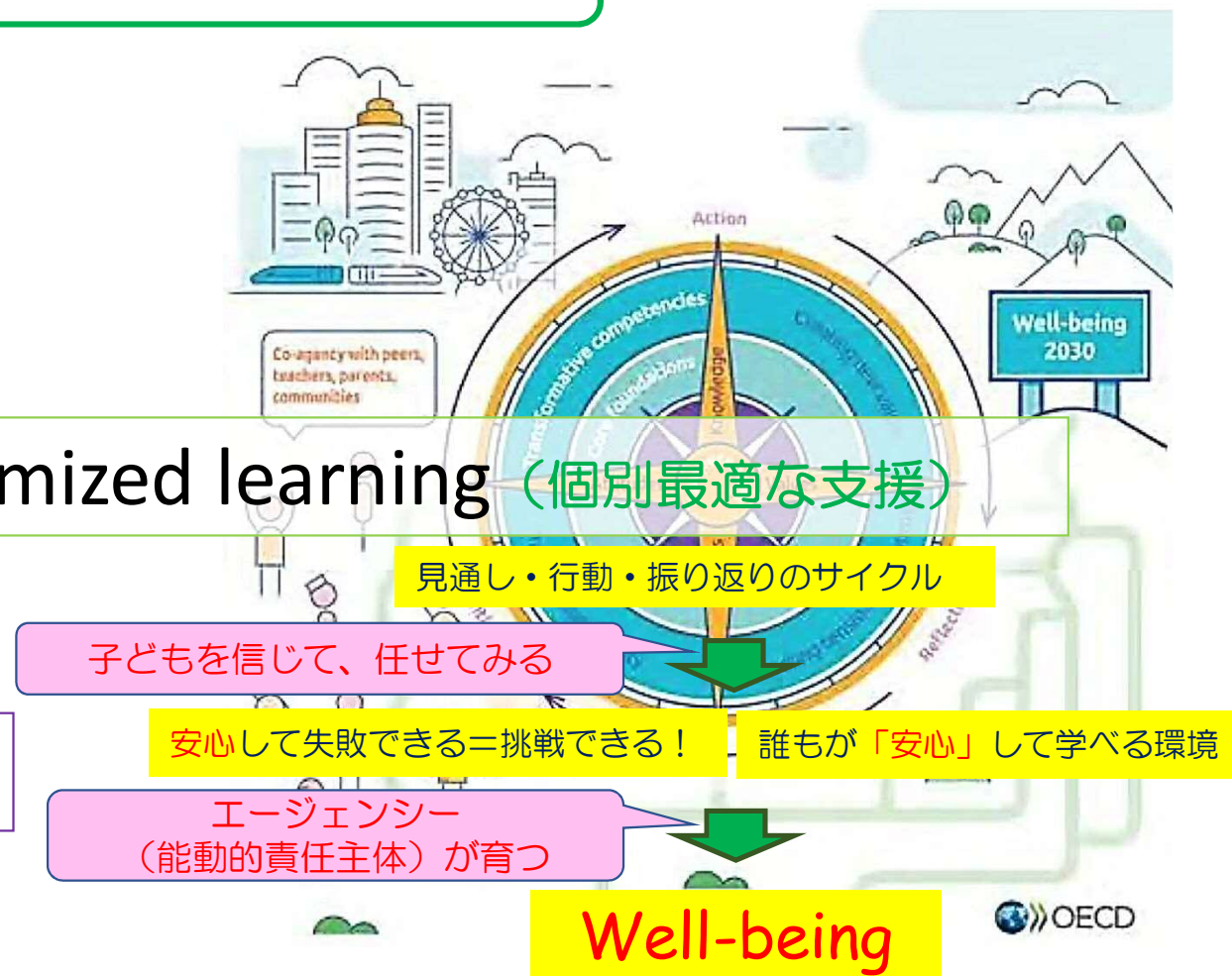
Place（居場所）

Explore（探究）

Assist individually optimized learning（個別最適な支援）

Collaboration（協働）

Experience（体験・経験）



P・E・A・C・E プロジェクトって？

約150年前から続く「みんなで同じことを同じペースで一律に」といった教育が段々と難しくなってくる中、学校も多様な個性、背景、願いをもった子どもたちが学び合う場となってきました。一人ひとりの個性が認められ、響き合い、共に新たな価値を創造する教育への転換が求められています。

何よりどの子にとっても、学校が**安心**して過ごせる場所でありたいと考えています。

個々の“**今の自分**”というものをそのまま認めていきたいと考えています。

「あれもしたい！こうしてみたい！もっと知りたい！」等々……。子どもたちの内にある四つの本能的欲求（「知りたい欲求」「作りたい欲求」「コミュニケーションしたい欲求」「表現したい欲求」）を大事にしながら、「**対話**」を通した**最適な支援**を心がけていきます。

P・E・A・C・E プロジェクトは、「未来」に生きる子どもたちにとって、それぞれの well-being をめざすものでもあります。

P…Place（居場所）

どの子にも安心できる居場所を共に考えていきます。どこなら、どういう学び方なら気持ちが落ち着いて学べるか、時として子どもたちとも相談しながら決めていきます。

E…Explore（探究）

学びの主体は子どもたち。学びへの欲求を大事に、身の回りの社会や自然に対する疑問や自ら立てた課題を自ら追究していく過程を大事にします。

A…Assist individually optimized learning（個別最適な支援）

- 子どもたち個々の特性に応じる。

集団が苦手、今は落ち着かない、色々な音が気になる……。どういう場所、どういう学習の仕方なら少し安心して学ぶことができるか、時として子どもたちと相談しながら決めていくこともあります。

- 個々のペース・学び方に応じる。

自ら立てた問いや自ら考えた目標、計画、進め方（仲間や教師の力も借りることも含む）に委ねることもあります。

C…Collaboration（協働）

一人では越えられない課題、壁にぶち当たることもあります。そんな時は、仲間や教師の力を借りながら学ぶ、つながりながら学ぶことも大事にします。

E…Experience（体験・経験）

ChatGPTをはじめAI機能の進化により、調べ学習など一見便利なところもありますが、「考えない」ことが習慣化される懸念もあります。

子どもたちが夢中になって遊ぶ、学ぶ、失敗や成功を繰り返す体験を大事にしています。それが「また次、やってみよう」と挑戦心に火をつけ、複雑で予測困難な未来を切り拓く力の育成にもつながっていきます。

これまで + ONE STEP!

成長を急かさず、**一歩ずつ**。

今、目の前の子どもたちに何が必要か。これまでの育ちはどうだったのか。

これまでにはどんな体験をしてきたのか、あるいはできなかったのか。

子どもたちにどんな選択肢を与え、自分で決め、自分で行動し、振り返ったことをどう生かしていくのか。

安心して失敗できるから、**次も挑戦**しようとなる。

その先には**自分で考えて、自分で行動できる力**が育つ。

子どもたちの声

学校や先生に対して望むこと。

(「第3期芦屋市教育基本計画(R3~R7)」作成時アンケートより)

※割合が多い順

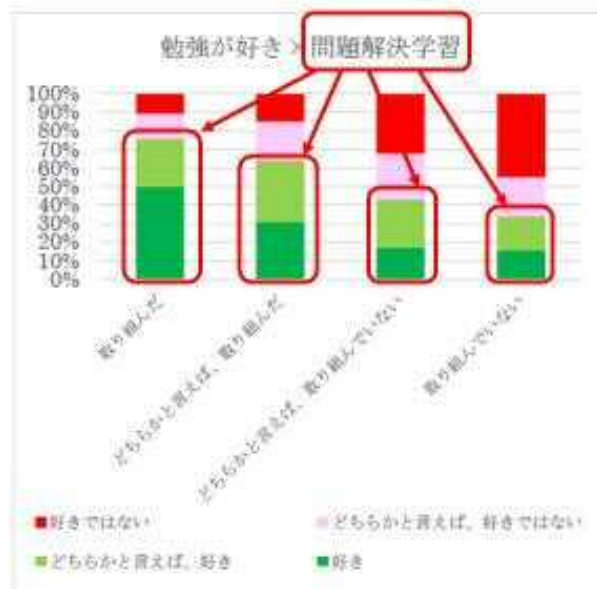
【小学生】

- | | |
|------------------------|-------|
| ・体験学習などたくさんしてほしい。 | 51.5% |
| ・興味のあることをたくさん教えてほしい。 | 34.9% |
| ・いじめのない楽しい学校づくりをしてほしい。 | 29.7% |
| ・グループの学習をたくさん取り入れてほしい。 | 23.7% |

【中学生】

- | | |
|------------------------|-------|
| ・わかりやすく教えてほしい。 | 40.1% |
| ・興味のあることをたくさん教えてほしい。 | 39.9% |
| ・体験学習などたくさんしてほしい。 | 38.7% |
| ・自分の学力がどれくらいなのか教えてほしい。 | 25.3% |

勉強が「好き」の実現に向けて



5年生までに（中学校1、2年生までに）受けた授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいた。どちらかというに取り組んでいた。

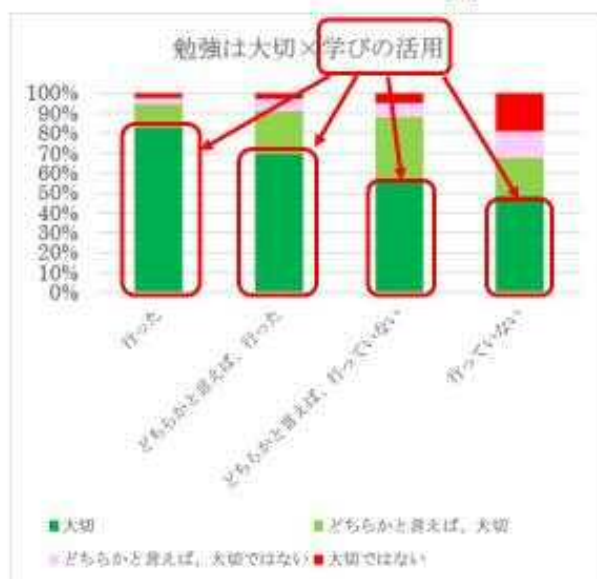
問題解決的な学習

- ①課題を見つけ
- ②解決方法を考え
- ③自ら取り組む

子ども
主体の授業

↓
この経験があればあるほど、勉強が好き。

勉強が「大切」と思えるように



5年生までに（中学校1、2年生までに）受けた授業では、各教科などで学んだことを生かしながら、自分の考えをまとめる活動を行っていた。どちらかというで行っていた。

単元末の活動

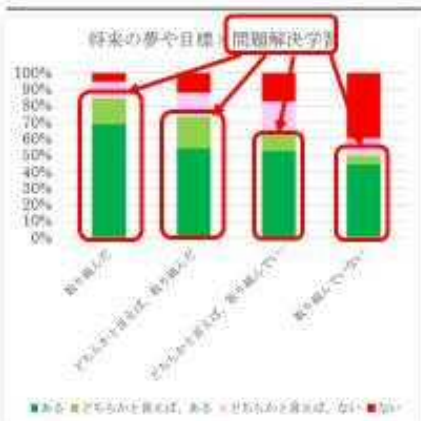
アウトプット

- ①単元を通して学んだ
- ②ふりかえったor何か表現した

↓
この経験があればあるほど、勉強は大切と思える。

自分自身に関すること

自分にはよいところがあると思う。 (どちらかといえば当てはまる。)		78.6	75.6	82.5	83.5	76.2	77.2	84.0	80.0
将来の夢や目標を持っている。 (どちらかというと思っている。)	A	80.0	77.6	74.1	81.5	60.9	64.5	67.7	66.3
普段の生活の中で、幸せな気持ちになることがよくある。(ときどきある。)				86.2	91.0			87.5	86.8



5年生までに(中学校1、2年生までに)受けた授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいた。どちらかという取り組みていた。

問題解決的な学習

- ①課題を見つけ
- ②解決方法を考え
- ③自ら取り組む

**子ども
主体の授業**

↓
この経験があればあるほど、将来の夢や目標がもてる。

他者とののかかわりに関すること

いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思う。(どちらかというと思う。)		96.3	95.2	94.6	96.9	95.8	94.6	96.3	95.5
地域や社会をよくするために何かしてみたいと思う。(どちらかというと思う。)	B			67.2	76.6			58.9	63.9
自分と違う意見について考えるのは楽しい。(どちらかというと思う。)		70.5	71.5	67.4	76.5	77.8	77.5	78.7	77.6
人の役に立つ人間になりたいと思う。(どちらかというと思う。)		94.1	93.6	94.1	95.9	95.2	96.2	94.6	94.6
友達関係に満足している。(どちらかといえば当てはまる。)				88.1	90.3			91.1	88.7

5年生までに(中学校1、2年生までに)受けた授業では、各教科などで学んだことを生かしながら、自分の考えをまとめる活動を行っていた。どちらかという行っていた。



単元末の活動

アウトプット

- ①単元を通して学んだ
- ②ふりかえったor何か表現した

↓
地域や社会をよくしたい

他者とののかかわりに関すること

いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思う。(どちらかと思う。)

地域や社会をよくするために何かしてみたいと思う。(どちらかと思う。)

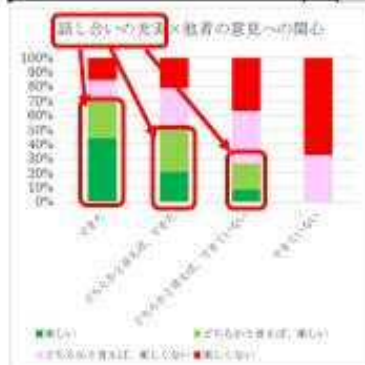
自分と違う意見について考えるのは楽しい。(どちらかと思う。)

人の役に立つ人間になりたいと思う。(どちらかと思う。)

友達関係に満足している。(どちらかといえば満足はする。)

96.3	95.2	94.6	96.9	95.8	94.6	95.3	95.5
		67.2	76.6			59.9	63.9
70.5	71.5	67.4	76.5	77.8	77.9	78.7	77.6
94.1	93.6	94.1	95.9	95.2	95.2	94.6	94.6
		88.1	90.3			91.1	88.7

学校の友達(生徒)との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができている。どちらかというできている。



授業時間の話し合いが充実

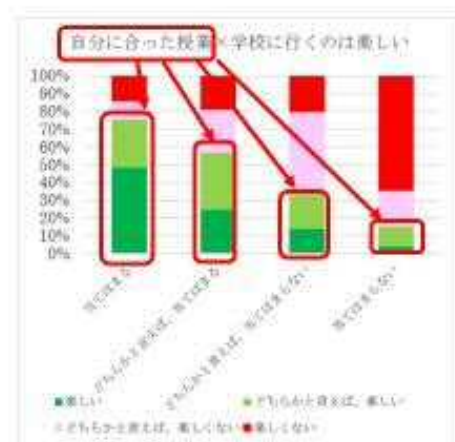
グループ協議

- ①自分の考えを出す
- ②自分の考えが広がる・深まる
- ③友達の考えが自分の学びに生きる

学校や先生とののかかわりに関すること

学校に行くのは楽しいと思う。(どちらかと思う。)

80.9	83.1	80.6	85.3	78.8	83.3	82.0	81.8
------	------	------	------	------	------	------	------



5年生までに(中学校1・2年生までに)受けた授業は、自分にあった教え方、教材、学習時間などになっていた。どちらかというとなっていた。

芦屋市	73.8	68.0
全国	82.9	74.9

一人ひとりのニーズ

個別最適な支援

- ①教え方
- ②教材・内容
- ③学習時間

対話について

これまで、多くの学校や自治体とご一緒してきた中で、私の中にはいま、一つの大きな確信があります。「ああ、これは“よい学校”だ」と確信を持って言える学校には、例外なく対話の文化や仕組みがあるのです。

先生方は、対話を通して、学校教育の最上位の目的や、本質的な深い子ども観・授業観を共有している。保護者も、その対話に加わり、思いを共有している。子どもたちもまた、自分たちの学校や、そこでの学び・活動などを、つねに仲間や先生たちとの対話を通して、自らつくり合っている。

民主主義社会とは、「対話を通じた合意形成」によって、私たちが共につくり合う社会です。そして学校は、この民主主義の一番大事な土台です。

そんな学校教育の本質を、先生、子どもたち、保護者、地域の人たち、みんなであらためて共有し、よりよい学校を共につくっていったら。そう、心から願っています。



哲学者・教育学者
熊本大学教育学部准教授

苫野 一徳

《芦屋市教育アドバイザー》

これから求められる学力について



東京大学教授

慶応義塾大学特任教授

鈴木 寛

《芦屋市・芦屋市教育委員会連携協定
：東京大学公共政策大学院》

20世紀においては、大量生産、大量流通、大量消費社会を支える人材となるべく、作業マニュアルを覚えて、それを正確に高速に再現し、マニュアル通りかどうかをチェックし、修正する能力が、実業界から強く求められていました。

しかし、こうした能力は、デジタル技術の進展に伴い、ロボットや人工知能にとって代わられるようになり、また、国連事務総長も Beyond GDP（GDP を超えて）の重要性を強調するようになっているなかで、教育の目的は「個人と社会のウェルビーイングの向上・改善」に変わってきています。真の幸福（ウェルビーイング）とは何かを再定義し、それを仲間と共に熟議し創造する力、責任をとる力、矛盾や困難に向き合う力を育むため、生徒の知識、技能もさることながら生徒の能動性・主体性（エージェンシー）を磨く、アクティブ・ラーニング（主体的で対話的で深い学び）がより重要になっています。そうした学力を身に着けるため、仲間との協働学習や探究学習や STEAM（科学・技術・工学・アート・数学）教育、実社会での PBL（プロジェクト・ベースト・ラーニング）などがこれからの学びの中心となっています。